

文学部長メッセージ

文学部長

石田信一

文学部の学生の皆さん、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により日常生活のあらゆる面で多大な影響を被っていることについて、心よりお見舞い申し上げます。緊急事態宣言が解除されたとはいえ、なおコロナ禍が終息したわけではなく、しばらくは窮屈に感じる日々が続くかも知れません。

文学部は、半世紀以上にわたって、①人間形成に関わる学識や技能をそなえ、豊かな心と表現力で文化の創造に寄与し、社会に貢献できる能力、②人間が直面するいろいろな問題について積極的に考え、その解決に向けて主体的に努力する能力、③自らの考えを論理的にまとめ、明解な方法で表現できる能力を獲得し、人間尊重の精神と豊かな想像力を身につけることを目指して教育活動を続けてきました。コロナ禍に見舞われた現在においてこそ、文学部における普遍的ともいえる「学び」の重要性が高まっているように思います。

文学部はこのような困難な状況下にあって、皆さんの健康と安全を守ることを第一に考えながら、皆さんがいろいろなことに挑戦し、「学び」を深め、自らの可能性を広げる機会を逸することにならないように、できる限りの支援を行っていきます。文学部が重視してきた演習や実習をはじめとする少人数教育・指導を万全な状態で対面式で実施できないことは非常に残念ですが、私たち教員自身も、オンライン授業の工夫・改善のための努力を続け、教育の質の向上を心がけています。

長く続く外出自粛等によるストレス等の健康上の不安や、経済活動の停滞から来る困難といった問題を抱える場合も少なくないと思います。文学部の教員一同は、授業担当者として、あるいはアカデミックアドバイザーとして、大学・学園全体とも連携しながら、そうした皆さんの不安や困難を少しずつでも解消する手助けをしたいと考えています。大学が設置している「オンライン授業学生支援窓口」や修学支援金も、ぜひ活用してください。

私たちが直面している「新しい日常」の中でも、さまざまなコミュニケーション手段を通じて、より強い絆を築くことができると信じています。この絆を大事にしながら、未曾有の難局を乗り越え、皆さんが大きく成長した姿を、それぞれのキャンパスで直接見られる日が来ることを心待ちにしています。